



平成 26 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 日 立 マ ク セ ル 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 千 歳 喜 弘  
(コード番号：6810 東証第一部)  
問 合 せ 先 業 務 管 理 本 部 経 営 戦 略 部  
(TEL. 03-3515-8283)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 4 月 28 日に公表した平成 27 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 業績予想修正の内容

(1) 当期の第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,000	2,400	2,200	1,800	34.06
今回修正予想 (B)	75,500	2,060	2,370	1,750	33.11
増減額 (B-A)	△2,500	△340	170	△50	
増減率 (%)	△3.2	△14.2	7.7	△2.8	
(参考) 前期連結実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	69,349	2,058	2,400	1,974	30.01

(2) 当期の通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	167,000	8,500	8,100	6,750	127.74
今回修正予想 (B)	154,000	5,100	4,900	6,750	127.74
増減額 (B-A)	△13,000	△3,400	△3,200	0	
増減率 (%)	△7.8	△40.0	△39.5	0	
(参考) 前期連結実績 (平成 26 年 3 月期)	148,481	7,356	8,066	7,432	118.20

#### 2. 修正の理由及び業績予想修正に関する定性的情報

(1) 事業状況に関する定性的情報

自動車電装化による需要増を背景として、車載用のマイクロ電池や光学部材などの受注が期初見通しに対して好調に推移しているものの、ハイエンドスマートフォン向けの民生用リチウムイオン電池の受注が減少したことなどから、当第 2 四半期連結累計期間の売上高及び利益が平成 26 年 4 月 28 日

に公表した予想値を下回る見通しです。

リチウムイオン電池事業については当第3四半期以降も厳しい状況が予想されます。スマートフォンの市場構造の変化が当初の当社見込みよりも早く進んでおり、低価格帯の機種比率が急激に増加しています。主にハイエンドスマートフォン向けに民生用リチウムイオン電池を供給する当社としては、今後、当該市場において大きな収益が見込めない状況にあると判断しました。

#### (2) 成長力促進のための事業構造改革の実施

このような状況のなか、当社は成長力をさらに高めるための構造改革を早期に実行することとしました。リチウムイオン電池事業においては、今後の成長が期待できるマイクロ電池や定置型蓄電システムなどにリソースのシフトを進めるほか、人員対策を含む事業構造改革を早期に実施することにより、安定的に収益を確保できる体質に再構築します。さらに、全社的にも固定費削減を徹底し、当期において抜本的な経営基盤強化策を早期に実施します。

#### (3) 今後の見通し

現在好調に推移している「自動車」「住生活・インフラ」「健康・理美容」といった成長分野を着実に伸ばす計画であるほか、有価証券ほか資産の売却などを検討しており、当期純利益については当初の予想を変更しておりません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の作成日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があります。

以 上